



HEIWA PAPER



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 平和紙業株式会社 上場取引所 東
コード番号 9929 URL https://www.heiwapaper.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 和田 学 TEL 03-3206-8501
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,963	0.4	83	△26.3	150	△13.6	81	△20.6
2024年3月期第3四半期	11,915	0.5	113	42.1	174	33.3	102	△87.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3百万円 (△99.3%) 2024年3月期第3四半期 533百万円 (△38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	8.59	—
2024年3月期第3四半期	10.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	18,917	9,988	52.8
2024年3月期	18,834	10,098	53.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,988百万円 2024年3月期 10,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2025年3月期	—	6.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	4.2	165	4.4	235	5.9	143	4.9	15.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	10,116,917株	2024年3月期	10,116,917株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	657,395株	2024年3月期	657,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	9,459,522株	2024年3月期3Q	9,459,522株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しておりますが、一方でウクライナ情勢の長期化、原燃料価格や物価の高騰、海外経済の減速懸念に加え、今後のアメリカの政策動向や中東情勢等の影響により、景気全般の先行きは不透明な状況が続いております。

紙パルプ業界におきましては、印刷・情報用紙の構造的な需要減少や原燃料高騰に伴う価格改定による需要の冷え込みは依然として続いており、紙・板紙での国内出荷量（日本製紙連合会発表の速報値による）は、前年同四半期実績を下回りました。

このような中で当社グループは、和洋紙卸売セグメントにおいて、主力である高付加価値特殊紙の販売強化、需要の見込める高級パッケージや各種技術紙、機能紙分野への事業拡大を推進しました。紙素材が、木材由来のカーボンニュートラル性を持つバイオマスであり、脱炭素、脱プラ、SDGs等の社会要請に合致するという優位性を生かし、該当分野での新規商材開発を進めるとともに、展示会、商品説明会、SNS等での情報発信に注力し、ブランドの認知拡大と新規需要、顧客の掘り起こしを強化しています。さらに今年度より、扱い商材の新たな価値創造、市場開拓と新事業開発を目的とした事業開発部門を創設しました。その動きの中で、強みである特殊紙分野での知見を活かしながら、紙素材のみならず紙周辺の特殊素材への事業エリア拡大を図っています。

不動産賃貸セグメントでは、弊社大阪事務所のリニューアル工事に伴い、その一部を賃貸用事務所とするべく事業化を行っており、来期上半期の稼働を予定しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高119億63百万円（前年同四半期比0.4%増）、経常利益1億50百万円（前年同四半期比13.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去前となっております。詳細は、P10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご覧ください。

<和洋紙卸売業>

和洋紙卸売業は、印刷・情報用紙分野での情報伝達媒体のデジタルシフトによる構造的な需要縮減の影響が大きく、商業印刷用途を中心として販売数量は減少しました。各種技術紙、機能紙分野での販売金額は堅調に推移したことと、全体の販売単価上昇や各種事業推進施策により売上高は微増したものの、売上総利益が減少、売上高は124億31百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は67百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

<不動産賃貸業>

不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介で構成される不動産賃貸業は、子会社の平和興産㈱が倉庫業務を新規に受託したことにより賃料収入が増加し、売上高は19百万円（前年同四半期比31.6%増）、営業利益は15百万円（前年同四半期比37.0%増）となりました。

(参考)

当社単体の和洋紙卸売業の営業成績

品目別	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	2,551	22.9	2,616	23.5	2.6
ファインボード	1,494	13.4	1,459	13.1	△2.4
高級印刷紙	2,621	23.5	2,617	23.5	△0.1
ベーシックペーパー	2,928	26.2	2,779	24.9	△5.1
技術紙	1,413	12.7	1,566	14.0	10.8
その他	147	1.3	116	1.0	△21.2
合計	11,157	100.0	11,156	100.0	△0.0

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、販売促進活動の継続効果と、パッケージや商業印刷用途が堅調に推移したことや、期間中の価格修正に伴う前倒し需要等が一部あり、売上高は26億16百万円、前年同四半期比2.6%の増加となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、菓子食品・化粧品等の高級パッケージ向けの販売は安定していましたが、商業印刷、広告物用途が減少し、売上高は14億59百万円、前年同四半期比2.4%の減少となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、紙製品用途が堅調に推移しましたが、商業印刷用途や出版向けの販売がわずかに減少し、売上高は26億17百万円、前年同四半期比0.1%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙等の印刷用紙、包装用紙、各種パッケージ向け板紙等で構成されるベーシックペーパーは、紙器用途が堅調に推移しましたが、商業印刷や輸出向け用途が減少したことで、売上高は27億79百万円、前年同四半期比5.1%の減少となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、偽造防止用途や耐水撥水性機能紙の販売が減少しましたが、選挙需要等もあり合成紙の販売が堅調に推移したことで、売上高は15億66百万円、前年同四半期比10.8%の増加となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材等で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売及び製紙関連資材、紙加工品の販売が減少し、売上高は1億16百万円、前年同四半期比21.2%の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて83百万円増加して、189億17百万円となりました。主な要因は、現金及び預金3億93百万円、受取手形及び売掛金1億93百万円、投資有価証券1億28百万円が減少したものの、電子記録債権2億24百万円、商品1億93百万円、有形固定資産3億76百万円が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1億93百万円増加して、89億28百万円となりました。主な要因は、未払法人税等17百万円、賞与引当金84百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金1億70百万円、電子記録債務1億27百万円が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億9百万円減少して、99億88百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金1億5百万円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2025年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

売上高	16,800百万円	(前期比	4.2%増収)
営業利益	165百万円	(同	4.4%増益)
経常利益	235百万円	(同	5.9%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	143百万円	(同	4.9%増益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,839,348	2,445,850
受取手形及び売掛金	3,917,750	3,724,111
電子記録債権	1,946,504	2,170,741
商品	3,900,971	4,094,134
貯蔵品	47,530	49,994
その他	105,144	107,395
貸倒引当金	△903	△1,182
流動資産合計	12,756,346	12,591,046
固定資産		
有形固定資産	2,133,665	2,510,564
無形固定資産	34,807	26,551
投資その他の資産		
投資有価証券	3,296,364	3,168,309
長期預金	300,000	300,000
その他	316,579	323,902
貸倒引当金	△3,485	△2,926
投資その他の資産合計	3,909,457	3,789,285
固定資産合計	6,077,930	6,326,401
資産合計	18,834,277	18,917,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,720,827	4,891,509
電子記録債務	314,311	442,106
短期借入金	2,209,510	2,236,403
未払法人税等	18,731	1,009
賞与引当金	149,230	64,680
その他	302,339	308,712
流動負債合計	7,714,951	7,944,422
固定負債		
退職給付に係る負債	258,251	260,641
資産除去債務	71,657	72,582
繰延税金負債	493,648	486,954
その他	197,297	164,214
固定負債合計	1,020,856	984,393
負債合計	8,735,807	8,928,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	4,627,951	4,595,740
自己株式	△293,972	△293,972
株主資本合計	8,773,211	8,740,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,148,624	1,042,712
為替換算調整勘定	176,633	204,920
その他の包括利益累計額合計	1,325,258	1,247,633
純資産合計	10,098,469	9,988,633
負債純資産合計	18,834,277	18,917,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	11,915,948	11,963,241
売上原価	9,451,932	9,541,053
売上総利益	2,464,015	2,422,187
販売費及び一般管理費	2,350,451	2,338,512
営業利益	113,563	83,675
営業外収益		
受取利息	3,948	2,259
受取配当金	67,389	79,962
為替差益	—	1,908
その他	11,388	5,377
営業外収益合計	82,726	89,506
営業外費用		
支払利息	16,039	19,476
為替差損	877	—
売上割引	2,809	3,177
その他	2,304	—
営業外費用合計	22,031	22,654
経常利益	174,258	150,528
特別利益		
固定資産売却益	—	86
特別利益合計	—	86
特別損失		
固定資産除売却損	164	3,264
事務所移転費用	—	2,721
特別損失合計	164	5,985
税金等調整前四半期純利益	174,094	144,629
法人税、住民税及び事業税	24,590	31,391
法人税等調整額	47,130	31,934
法人税等合計	71,721	63,326
四半期純利益	102,373	81,303
親会社株主に帰属する四半期純利益	102,373	81,303

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	102,373	81,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	395,988	△105,911
為替換算調整勘定	34,857	28,286
その他の包括利益合計	430,846	△77,625
四半期包括利益	533,219	3,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533,219	3,678

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	75,415千円	122,497千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,907,910	—	11,907,910	—	11,907,910
その他の収益	—	8,038	8,038	—	8,038
外部顧客への売上高	11,907,910	8,038	11,915,948	—	11,915,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	467,792	6,407	474,200	△474,200	—
計	12,375,702	14,445	12,390,148	△474,200	11,915,948
セグメント利益	99,997	11,595	111,592	1,970	113,563

(注) 1. セグメント利益の調整額1,970千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	和洋紙卸売業	不動産賃貸業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,955,766	—	11,955,766	—	11,955,766
その他の収益	—	7,475	7,475	—	7,475
外部顧客への売上高	11,955,766	7,475	11,963,241	—	11,963,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	476,051	11,541	487,593	△487,593	—
計	12,431,818	19,016	12,450,835	△487,593	11,963,241
セグメント利益	67,258	15,881	83,140	534	83,675

(注) 1. セグメント利益の調整額534千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。